

あ い あ い

2021年10月

対象：0歳～6歳（未就園児）もしくは出産前のご家庭

～みなさんの子育てを応援しています～

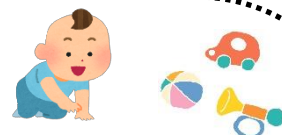
色づく木の葉に、地面に重なる落ち葉や木の実。涼しい秋風が、気持ちの良い季節となりました。引き続き、感染対策や体調管理に気を付けながら、親子で秋を見つけにお散歩してみるのもいいかもしれませんね。

新型コロナウイルス感染防止のため、本来ならば稲荷砂川保育園で毎日開催しています「あいいいひろば」はお休みをさせて頂いておりますが、困ったことがあればいつでもお電話にてご相談ください。

今月から砂川東公園にて「出前保育」を再開します。10月21日（木）を予定しております。詳細はカレンダーをご覧ください。



子育てワンポイント！ ～自分の頭で考える力を育む習慣～



大人になると、1日最大3万5000回、自分で考えて選択し、決断しているそうです。「今日何を着ようか？」「何を食べようかな？」等と言った日常生活の中での決断もあれば、就職や転居、結婚等、人生にとって大きな選択まで、私たちは様々なことを日々考えて選択し、決断して生きています。子どもたちも、大きくなるにつれて、自分で考えて選択し、決断しなければならない場面が増えていきますね。そのため、子ども自身が小さい頃から自分の頭で考える機会を経験しておくことはとても大切なことだと感じます。

子どもは自分で考えて選ぶことで、自分の好き嫌いを認識するようになります。また、自分で選ぶことで失敗したり、「あっちにすればよかったな…」と後悔したり、と言った経験から、物に対する責任や、自分で選択する「重さ」、自分で考えて選ぶ「楽しさ」を知ることができます。

では、子どもと日々過ごす中でどうしたら自分で考える力を育むことができるのでしょうか。例えば、赤ちゃんの場合、玩具で遊ぶ時、「お人形にする？」「ガラガラ音の鳴る玩具にする？」と目の前で見せて、遊びたいと思う玩具を選んでもらう方法があります。なんとなく目で追ったり、手を伸ばしたり等、赤ちゃんからの反応を待ってみましょう。もう少し大きくなると、着る服を2～3枚用意して選んでもらうのもいいです。子どもが小さい間は、選択肢を2～3つほど提示して選ぶという方法がわかりやすいです。会話ができるくらいの年齢になってきたら、「今日は何をして遊びたい？」と相談するように声をかけて子どもの意見を聞いてみるのもいいですね。もしも、子どもが親の提示した事柄を選ばず、抱っこを求めたり、親に選んで欲しいと訴えてきたりしたとしても、子ども自身が考えて出した答えですから、それも立派な自己選択であることを伝えてあげましょう。

子どもが小さいとつい大人が段取りを決めて1日を過ごそうとしてしまいそうになりますが、子どもの成長に合わせて、簡単などころから少しずつ子ども自身が考える時間を意識して作ってみてください。日常的に自分で選択する機会が多い子は、周囲に流されそうになったり、間違った選択をしそうになったりした時、立ち止まって考える力がつきます。

日々の生活の中で、たくさん考えて、時には葛藤して、成功したり失敗したり…沢山の経験を積み重ねて行きながら生きる力を身につけていけるといいですね。また、私たち大人は、一生懸命成長しようとする子どものありのままの姿を受け止め、あたたかく見守れる存在でありたいですね。

社会福祉法人稲荷保育園

稲荷砂川保育園

〒612-0008

京都市伏見区深草六反田町4-7

TEL 075-561-1096

FAX 075-561-8905



★あいいい通信は稲荷砂川保育園のホームページ

<https://inasunahoikuen.jp/>の「地域子育て支援」のページにも掲載されています。